

1. 歳入総額に占める特別区税・特別区交付金の割合の推移

区の主要一般財源である特別区税及び特別区交付金の歳入総額に占める割合は、56.4%となり、前年度を1.6ポイント下回った。

主要一般財源である特別区税・特別区交付金の歳入総額に占める割合について、その推移をみることは、本区の財政体質の変化と現状を把握するうえで欠かせないことである。

この財源は、平成11年度は44.7%であったが、平成12年度には、都区制度改革に伴う都区財政調整制度の改正により特別区交付金が増となったため、歳入総額に占める割合も50.5%となり、その後も50%台で推移している。

平成20年度の歳入総額に占める主要一般財源の割合は、特別区税及び特別区交付金のいずれも増加したが、歳入総額の伸び率が主要一般財源の伸び率を上回ったことから、前年度を1.6ポイント下回り、56.4%となった。

特別区税の増は、人口増による納税義務者数の増や株式譲渡所得の増などによるものである。また、特別区交付金の増は、投資的経費の臨時的な算定などによるものである。

単位：百万円

区分	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
歳入総額 (A)	91,121	87,489	86,122	83,606	82,174	81,581	82,785	86,544	87,769	94,071
特別区税・ 特別区交付金 (B)	40,708	44,178	44,925	43,177	42,297	42,272	43,911	48,742	50,938	53,056
(B)の対前年度 比較<金額>	△ 1,074	3,470	747	△ 1,748	△ 880	△ 25	1,639	4,831	2,196	2,118
(B)の対前年度 比較<伸び率>	△ 2.6	8.5	1.7	△ 3.9	△ 2.0	△ 0.1	3.9	11.0	4.5	4.2
B/A (%)	44.7	50.5	52.2	51.6	51.5	51.8	53.0	56.3	58.0	56.4

歳入総額に占める特別区税・特別区交付金の割合の推移

